
若者よ、力を抜け

エクスケ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

若者よ、力を抜け

【Nコード】

N4559I

【作者名】

エクスケ

【あらすじ】

あなたはちゃんと休んでますか？ 休むことを悪いことと捉えるのは大きな間違いです。この作品で休むことの意味を再確認しませんか？

(前書き)

物語ではありません。そして、完全に主観で書いていますので、不愉快な思いをすることがあり得ます。ご留意の上、お楽しみください。

前に、老人介護のテレビコマーシャルで「頑張らない勇気も大切です」という内容のものが放送されていた。私はこの「頑張らない勇気」という言葉に大変感銘をうけた。確かに日本人は頑張ることを尊いとする傾向がある。

いわゆる体育会系の人々を見ていると、指導者は大方、「もっとがんばれ」とか「踏ん張りどころだ」とか力を入れるべきところを多く指摘している。しかし、指導者はもつと力を抜くべきところを指摘するべきだと思う。こう力め力めと言われると、そのうちいつでも力を入れて大声を張り上げガチガチの活動をするようになってしまふ。そうすれば、もちろんその指導者との接し方にも力が入り、おおよそいい関係は築けないだろう。力を抜くべきところをちゃんと指摘すれば、気持ちはリラックスし、体もほぐれ、次に待っている力を入れるべきところで十分に実力を発揮できる。現に私もゲームを長時間やるときは、1時間おきに休憩をいれるようにしている。「休み時間は休む為だけの時間はなく、次の授業の準備の時間」ということを昔、先生が言っていた。「次の授業の準備」とはノートや教科書を机に出すことだろう。取るに足らないことだが、これが出来ない人がどれだけいるか。もはや、「休憩の練習」も必要かもしれない。休憩の練習？ これは言い得ているかもしれない。力を入れることを教え込まれた人達は力の抜き方を知らないといつてもおかしくはない。そうなれば、「休憩の練習」も必要だ。ぜひ、新しい授業科目に「休憩総合」というものを追加してほしい。と、一瞬思ったが、休憩の方法は他人に教えられるものでなく、自分で編み出すものだ。あくまで教えるのは休憩のタイミングである。注意してほしい。

もはや、練習と休憩は同価値かそれ以上に思えてきた。休憩を知ること活動が活かされるなら、逆に活動が休憩を活かすということ

はないだろうか。これも、言える節がある。活動が過激すぎて、疲れ果ててから休憩をとってもその疲れをとるのに多大な時間がかかる。よく、知人が「昨日の練習の疲れがとれない」と嘆いていたが、これは疲れ果ててから休憩をとっているからだろう。私は一番の休憩ポイントは自分で疲れを意識し始めたあたりだと思う。自分が疲れを意識してしまうと、集中は途切れ、「私はもう疲れている」という前提ができてしまう。これはいけない。「疲れてきたな」と思ったら、短い休憩をいれ、また活動を再開する。大きな休憩を少ない回数とるのではなく、小さな休憩を多い回数とる。というのが大切と言えよう。

休憩の大切さを知り、実際に意識して休憩をとってみることで、きつと何か発見できると思う。そしてぜひ、最後まで読んでくれて読者の方々には蒸しタオル等で眼を休めてほしい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4559i/>

若者よ、力を抜け

2011年1月20日00時14分発行